

2021 年度末報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2022 年 4 月 28 日
- 事業名 : 食の物流ネットワーク整備プロジェクト
- 資金分配団体 : 一般社団法人全国食支援活動協力会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
0101.ロジ拠点（共同事業体あるいはコンソーシアム）が解決すべき課題を共有できている	①話し合いのプラットフォームに参画する機関・団体数 ②協議体による委員会開催数	①行政・企業・NPO等ロジハブ推進に関する6団体・機関程度が参画している ②年3回以上開催 ※各実行団体により計画通り開催し、課題解決の話し合いができている状態	2024 年 3 月	①一部地域には話し合いのテーブルに企業が参画していない団体もあるが、その他は行政・企業・NPO等の関係団体が参画。行政窓口も福祉部局だけでなく環境リサイクルや資源循環に関連する部局が参加している。今年度	2

				は課題の明確化・共有を中心に議論を行っている。 ②北海道3回、長野3回、福岡3回、山口6回、鳥取1回	
0102.ロジ拠点（共同事業体あるいはコンソーシアム）が協働して事業を振り返り、改善させている	①ロジシステム構築に参画する委員の関わり方 ②自治体・異業種機関の協力関係の変化	①食フェスタなど具体的な活動の実務に参与している ②冷蔵冷凍設備の整備や維持費等に対し、助成財団からの助成や自治体から一部補助が受けられるといった協力事例が生まれる	2024年3月	①実行委員会形式の中で食フェスタ開催時の広報や事例紹介の登壇など連携を図っている。 ②連携実績なし	
0201.ロジ拠点が地域に必要なものを発信できるようになる	宣伝媒体や会議等を通じて情報発信した回数や対象推定人数	メディア等による報道、掲載の発信年1回以上	2024年3月	実行団体の報告書参照	2
0202.支援地域内で協力してくれる企業・行政が増える	各支援地域において支援する企業・行政機関の数と支援内容	各支援地域において本事業に対して何かしらの支援を行う企業・行政10社・機関	2024年3月	北海道：30企業・北海道庁、北海道社会福祉協議会ほか 長野：35企業・12行政・30団体との連携・協力 山口：食品提供協力8企業、備品整備協力1企業	2

				鳥取：39 企業・団体 福岡：18 企業、11 行政、 21 団体	
0203.資金分配団体や他ロジ拠点 同士が連携することにより、情 報が集まる	各支援地域の団体が 他団体に対する視察 や合同研修により情 報交換をしているか	3年間を通じて4地域程度の他団 体の活動を視察するほか資金分配 団体が実施する研修や学習会に年 2回以上参加している	2024年3 月	2022年3月に2019年 度通常枠実行団体と合 同で研修会を開催。	2
0301.支援地域内の仕分け、配送 に協力してくれる担い手がいる	各支援地域内の地域 内物流体制	配送ボランティアや物流支援企業 などにより地域内で寄贈物資の物 流体制ができている	2024年3 月	食フェスタ等で物流支 援の協力について呼び かけているが、連携実 績なし。長野において は、上田市内の社会福 祉法人が一部地域間の 配送支援を協力してく れている。鳥取でも社 会福祉法人の福祉サー ビス車両の空き時間を 活用して食料配送支援 を行う連携が始まって いる。	3
0302.食品寄付等を受け止められ るロジハブ拠点（保管拠点）が充	支援地域におけるハ ブの数とハブ拠点を	支援地域に必要十分な数のハブ拠 点が整備され、受け取った物がき	2024年3 月	北海道150団体（1ロ ジ10ハブ）	

足している	通じて食材を受け取る子どもを中心とした食の居場所の数	ちんと必要なところへ届けられる機能を有している。		長野 115 団体 (3 ロジ 4 ハブ) 鳥取 25 団体 (1 ロジ 3 ハブ) 山口 90 団体 (1 ロジ 7 ハブ) チャイケア 41 団体 (1 ロジ 2 ハブ)	
0303.ロジハブ拠点及安全に管理されている	①衛生管理講習の実施回数 ②ロジハブ拠点の衛生管理状態	①年 1 回衛生講習会を実施している ②すべてのハブ拠点が品質保持管理の基準を満たしている。	2024 年 3 月	北海道未実施 鳥取未実施 長野 1 回 福岡 1 回 山口 2 回	

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
0101.実行団体（ロジ拠点）が必要なものを発信できるようになる	実行団体が主催する食フェスタやセミナーの開催数	年3回程度	2024年3月	5地域にて食フェスタ・企業セミナーを計7回開催（北海道1・長野2・福岡1・鳥取1・山口2）	2
0102.実行団体（ロジ拠点）が企業・行政とつながれるようになる	実行団体が主催する食フェスタやセミナーに参加した企業・行政の数	10社・機関	2024年3月	<p>【北海道】参加者37名（行政1、企業7、中間支援団体8、ほか一般・こども食堂団体等）</p> <p>【福岡】参加者：60名（行政6、企業19、大学8、一般・こども食堂27）</p> <p>【鳥取】参加者：60名（行政32、企業9、社協10、一般・こども食堂9）</p> <p>【山口】参加者：計66</p>	2

				<p>名（行政 7、企業 10、生協 1 ほか NPO や子ども食堂、大学等）3 月 8 日参加人数 計 15 名（企業 10、行政 4）</p> <p>【長野】長野フェスタ参加者:1 日目 59 名（企業 18、行政 10、団個人 9）、2 日目 58 名 上田フェスタ参加者 58 名</p>	
0103.実行団体（ロジ拠点）の仕組みが他地域のネットワークにつながる（横展開していく）	圏域・広域のネットワークがあるか	圏域・広域のネットワークが生まれている。初期状態よりも広がっている、またはコミットメントが増えている。	2024 年 3 月	3 月四国圏域におけるロジハブ説明会を実施し、フードバンク山口と食料支援システムの必要性について現状と課題を関係部局やフードバンク団体と意見交換を行った。	
0201.企業がこの仕組み（ロジ・ハブシステム）の必要性や価値を理解している	定期的に食品等物資の提供をしている企業の数	10 企業等が年に 1 回以上の定期的な支援をしている。	2024 年 3 月	28 企業・団体から寄贈を受け、内 13 企業・団体とは定期的に寄贈いただける関係性が築け	2

				た。5企業とは協賛というかたちで連携しており、寄贈に限らない・各企業の実態に応じた支援が可能であることを示すことができた。当会のHPへロゴを掲載する等、多くのナショナルメーカーにご支援いただいていることを広報したことで、本事業の公益性が高いものであることを示し、結果実行団体の信用にも寄与することができた。	
0202.資金分配団体（全国拠点）が、地域のニーズと提供できる支援のマッチングを効率的に行えるようになる	ロジシステムに参画している全国都道府県の数	40 地域 32 都道府県に広がっている。	2024 年 3 月	37 地域 25 都道府県	2
0203.企業が行政・省庁がロジハブシステムの必要性や価値を理解している	企業学習会の開催数、参加企業・行政の数	年間 20 社・機関が参加している	2024 年 3 月	年 6 回企業向け学習会を開催。ホットライン信州やフードバンク山	2

				口にも事例紹介をいただいた。参加者は回を重ねるごとに増えており、企業だけでなく行政機関へも広がっている。今年度新しく参加した企業としては、食品メーカー11社、物流会社6社、その他企業（銀行・保険・商社等）11社、計28社。行政社協関係では21部局の参加があり、農政局や子ども福祉関係の課にご出席いただいた。	
0301.ロジ拠点がシステムを活用し、システムを介して企業が物資を提供できるようになる	当会が開発するWEBシステムの導入率	実行団体の支援地域のロジハブ拠点にIDが付与され、WEBシステムを通じて寄贈品の受入れを行うことができる	2024年3月	WEBシステム導入にあたっての説明会を実施（長野1回、山口2回、福岡1回） 各ロジ・ハブ拠点にはIDを付与しており、今後末端団体の登録手	2

				続きを進めていきたい。	
0302.ロジ拠点の支援地域に支援を受け止められる体制（冷蔵冷凍庫等）ができる	<p>①社会福祉施設等を活用してロジハブの拠点整備を行っている実績</p> <p>②休眠預金事業外で当会がマッチングしてインフラ整備を行った実績</p>	①②1件以上実績があり、事業終了後も機能している状態	2024年3月	<p>①鳥取市内では行政施設内に冷蔵冷凍庫を整備した他、長野県内でも社会福祉法人がハブ拠点を担っている。</p> <p>②資金分配団体が事務局を務める子どもの居場所づくり団体やミールズ・オン・ホイールズの協力団体を対象とする助成事業を実行団体に紹介、活用された（キューピーみらいたまご財団「食を通じた居場所づくり支援」助成事業、王将フードサービス「食を通して子どもの笑顔をつなごう」助成事業、ナルミヤ・インターナショナル「食と笑顔の思い出づくり」</p>	2

				助成事業、毎日新聞東京社会事業団「こども食堂運営継続応援プロジェクト」助成事業、24時間テレビ助成事業)。
--	--	--	--	---

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
<p>実行委員会として多様な関係機関・団体を巻き込み課題を共有し協議改善活動を行う事務局的な立ち位置での活動実績がない実行団体もあったことから、委員会開催支援や対話の場づくりを評価アドバイザーとともに介入し伴走した。また、食フェスタ等の開催時に企業の支援事例として当会が連携している企業に登壇依頼を働きかけ調整。各地域の行政への事業説明などについても同席し、全国的な概況や目的を実行団体と共に伝えるようにした。</p> <p>2020年3月には2019通常枠の実行団体と合同研修を開催し、こども食堂等居場所へのロジハブを活用した食料支援を先行しているサポートセンターとの情報交換・ノウハウ共有の場を作った。</p>
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

オンラインでの会議開催

③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

なし

2.広報制作物等

ミールズオンホイールズロジシステムのホームページ <https://mow.jp/mow-ls/index.html>

休眠預金事業の取り組み紹介ページ <https://mow.jp/project/index.html>

企業連携のホームページ <https://mow.jp/partners/index.html>

3.報告書等

なし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

食フェスタ長野、食フェスタ山口、食フェスタ北海道、食フェスタ福岡を実行団体と共催。詳細は各実行団体の報告書参照。

④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：コンプライアンス上の問題が発生した場合に、検討会議にて開催をすることとなり、該当する問題は発生しなかったため。

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→ 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）